

独立行政法人国立特別支援教育総合研究所の概要について

National Institute of Special Needs Education



(研究所と三浦半島三崎方面 (神奈川県))

国立特別支援教育総合研究所
(<https://www.nise.go.jp/nc/>)

目次

I 研究所の概要

1. 沿革、役員・職員数、財政規模
2. 組織図

II 研究所の活動

1. 研究所の使命・目標
2. 使命・目標を踏まえた研究所の活動
 - ①研究活動
 - ②研修事業
 - ③情報普及活動

国立特別支援教育総合研究所の位置



三浦半島



住所:神奈川県横須賀市野比5-1-1
電話:046-839-6803(代表)

研究所周辺

I 研究所の概要



1. 沿革、役員・職員数、財政規模

沿革

昭和46年10月	国の所轄機関として国立特殊教育総合研究所設置
平成13年 4月	独立行政法人化（主務大臣：文部科学大臣）
平成19年 4月	独立行政法人国立特別支援教育総合研究所に名称変更
平成20年 4月	発達障害教育情報センター設置
平成28年 4月	インクルーシブ教育システム推進センター設置
平成29年 4月	発達障害教育推進センター設置（発達障害教育情報センターの機能拡充）
令和3年4月～ 令和7年3月	第5期中期目標期間（令和3年度は第5期中期目標期間の1年目）

役員・職員数 R3.5.1時点

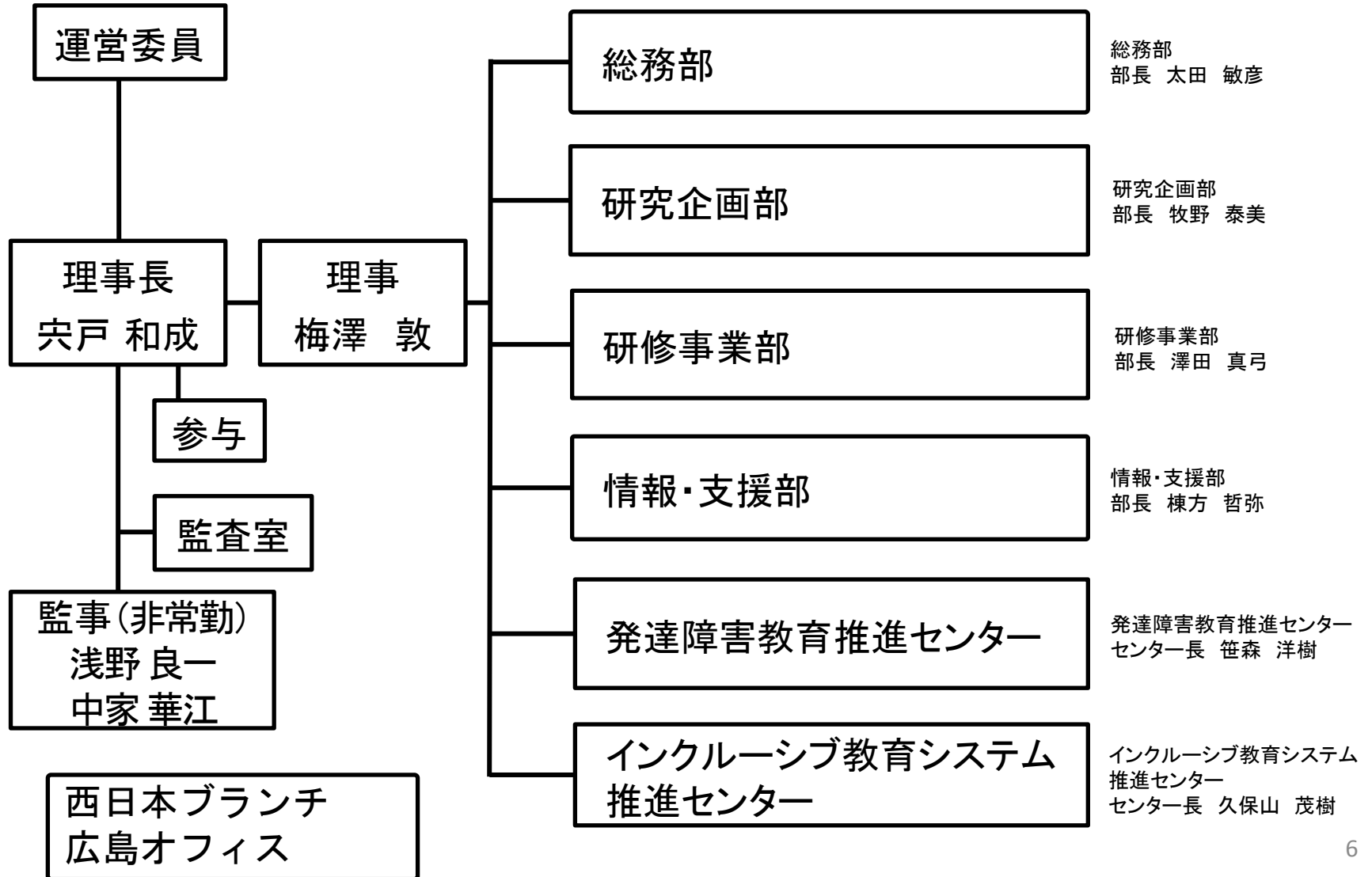
合計	72(2)
役員	2 (2)
研究職	40
一般職	30

令和3年度の財政規模

区分	金額(千円)
運営費交付金	1,101,433
施設整備費補助金	34,000

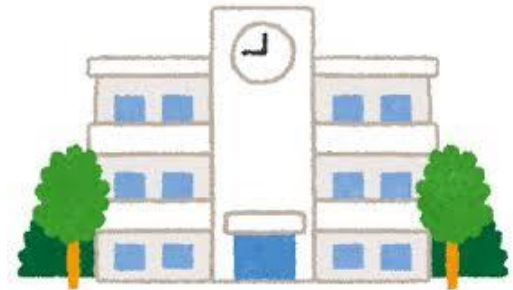
※()は非常勤で外数

2. 組織図



Ⅱ 研究所の活動

1. 研究所の使命・目標



独立行政法人国立特別支援教育総合研究所に係る政策体系図

国の政策

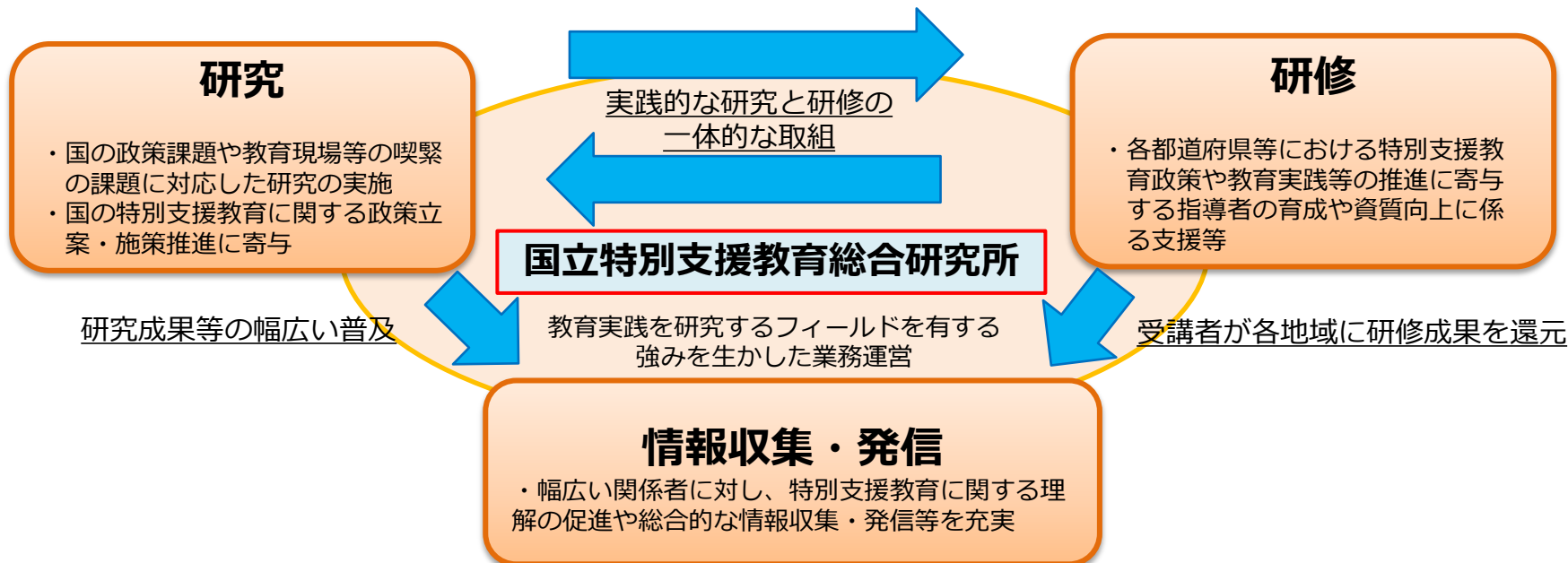
※第5期中期目標（令和3年度～令和7年度）

障害者の権利に関する条約の批准を受け、共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システムの構築に向けた特別支援教育を推進

法人の使命

我が国唯一の特別支援教育のナショナルセンターとして、インクルーシブ教育システムの構築に向け、国や地方公共団体、関係機関等と連携・協力しつつ、**教育実践を研究するフィールドを有し、実践的な研究と研修を一体的に行うことができる法人の強みを生かしながら**、特別支援教育を取り巻く国内外の情勢の変化も踏まえた国の政策課題や教育現場の課題に柔軟かつ迅速に対応する業務運営を行い、もって障害のある子供一人一人の教育的ニーズに対応した教育の実現に貢献する。

第5期中期目標期間における目標



<久里浜特別支援学校を始めとする様々な特別支援学校等や、特別支援教育以外を専門とする研究機関や関係機関との連携強化>

Ⅱ 研究所の活動

2. 使命・目標を踏まえた研究所の活動

- ① 研究活動
- ② 研修事業
- ③ 情報普及活動



Ⅱ 研究所の活動

2. 使命・目標を踏まえた研究所の活動

- ① 研究活動
- ② 研修事業
- ③ 情報普及活動



第5期中期目標期間（令和3年度～7年度） における研究の方向性

基本方針及び研究体系

インクルーシブ教育システムの構築に向けて、障害のある子供一人一人の教育的ニーズに対応した教育の実現に貢献することをミッションとする。

インクルーシブ教育システムの構築、障害のある子供一人一人の教育的ニーズに対応した教育の実現に寄与するため、国、地方公共団体、大学、研究機関、学校等関係機関との連携を強化するとともに、研究所の役割をさらに明確にし、国の政策課題や教育現場の喫緊の課題等に対応した研究活動を実施する。

第5期中期目標期間における研究体系

研究区分	研究の性格(研究期間)
重点課題研究	障害種の枠を超えて、国の特別支援教育政策の推進、又は教育現場等の喫緊の課題解決に寄与する研究(2～3年間)。
障害種別特定研究	各障害種における喫緊の課題の解決に寄与する研究(原則2年間)。
その他	<p>基礎的研究活動：テーマ別研究班及び障害種別研究班における基盤的な研究。年次基礎調査や、指導の充実等に寄与する調査・分析、それらの結果の普及等の基礎的・継続的な研究活動。</p> <p>先端的・先導的研究：将来的な教育政策の検討資料や教育実践の選択肢を提示することを目標に行う研究(1～3年間)。</p> <p>国の要請等に応じた研究：国の政策立案等に貢献することを目的とした研究。</p> <p>共同研究：本研究所が大学や民間などの研究機関等を共同で行う研究。</p> <p>外部資金研究：科学研究費助成金等の外部資金を獲得して行う研究。</p> <p>受託研究：外部からの委託を受けて行う研究。</p>

- 第4期中期目標期間の研究区分を見直し、各障害種の枠を超えて組織的に取り組む「重点課題研究」を中心に、多様な研究を実施。
- 障害種別研究班とともに、新たにテーマ別研究班を設置し基盤的な活動を充実。
- 研究を戦略的かつ効果的に推進するため、研究課題に応じて外部の研究協力者や研究協力機関との連携を進める。

第5期中期目標期間に取り組む研究活動

重点課題研究

<令和3年度より開始している研究>

(1) 教育課程に関する研究(国への政策貢献)

- 学習指導要領に基づく教育課程の編成・実施・評価・改善に関する研究
(教育課程チーム)

(2) 切れ目ない支援の充実にに関する研究(教育現場等の喫緊の課題に対応)

- 障害のある子どもの就学先決定の手続きに関する研究(就学チーム)
- 高等学校における障害のある生徒の社会への円滑な移行に向けた進路指導と連携の進め方等に関する研究(進路指導チーム)
- ICT等を活用した障害のある児童生徒の指導・支援に関する研究(ICTチーム)
- 通常の学級における多様な教育的ニーズのある児童生徒の教科指導上の配慮に関する研究(教科指導チーム)

障害種別特定研究

<令和3年度より開始している研究>

- 知的障害教育における授業づくりと学習評価に関する研究(学習評価チーム)

第5期中期目標期間に取り組む〈基礎的〉研究活動

テーマ別研究

社会的背景等から必要なテーマ別研究班を設置し、関係団体との連携を図りながら基礎的研究活動を行い、その成果を重点課題研究や国の政策立案等に生かしていく。

- ①ICT班 : 特別支援教育におけるICT、教材・教具の活用に関する研究班
- ②キャリア班 : 障害のある児童生徒のキャリア教育及び就労支援に関する研究班
- ③幼児班 : 乳幼児期の特別支援教育に関する研究班
- ④外国人等班 : 外国につながるのある子供の特別支援教育に関する研究班

障害種別研究

障害種別の研究班においては「障害種別特定研究」のほか、「基礎的研究活動」（各教育分野の指導の充実等に寄与する資料の収集や調査・分析、各教育分野の実態等を定期的に把握・分析することを目的とした年次基礎調査、それらの結果の普及等、当該障害種に係る基礎的・継続的な研究活動）を行うこととする。

- ①視覚班、②聴覚班、③知的班、④肢体不自由班、⑤病弱班、⑥言語班、⑦自閉症班、⑧発達・情緒班、⑨重複班

令和3年度 全国規模の研究調査 (予定：実施時期順)

	調査名	調査対象
1	教育課程編成・実施状況調査 「都道府県教育委員会を対象とした教育課程の管理方法に関する実態調査」 令和3年8～9月	都道府県教育委員会、指定都市教育委員会
2	教育課程編成・実施状況調査 「特別支援学校小学部・中学部における教育課程の編成・実施状況調査」 令和3年8～9月	小学部・中学部を設置する全国の公立特別支援学校
3	就学先決定の手続き等に関する調査 令和3年8～9月	全国の都道府県及び市町村教育委員会
4	全国難聴・言語障害学級および通級指導教室実態調査 令和3年8～9月	全国の難聴特別支援学級、言語障害特別支援学級、通級指導教室(難聴)、通級指導教室(言語障害)を設置する小学校・中学校および難聴・言語障害幼児を指導する教室を設置する幼稚園等の教育機関
5	教育課程編成・実施状況調査 「小・中学校特別支援学級における教育課程の編成・実施状況調査」 令和3年10～11月	特別支援学級を設置する全国の公立小・中学校
6	卒業後の進路先に対する質問紙調査 令和3年10～11月	全国の企業、全国の大学
7	幼稚園等における特別支援教育に関する全国実態調査 令和3年11～12月	全国の国公立、私立の幼稚園、認定こども園、保育所

第5期中期目標期間における令和5年度以降の研究課題の予定

重点課題研究

- ・ 特別支援教育に係る学習指導要領の構成に関する研究 (令和5～7年度)
- ・ 障害のある児童生徒のキャリア教育の充実に関する研究 (令和6～7年度)
- ・ 多様な学びの場における支援の在り方に関する研究 (令和5～7年度)
- ・ 交流及び共同学習等共生社会の形成に向けた学習等に関する研究 (令和5～6年度)
- ・ 特別支援教育を担う教員の専門性に関する研究 (令和6～7年度)

障害種別特定研究

- ・ 聴覚障害教育における多様な児童生徒への教科指導の充実に関する研究
(令和5～6年度)

※これらの研究課題は、「第5期中期目標期間における研究基本計画(令和3年4月)」において、「令和4年度において改めて検討する」とされており、また、これら以外の研究課題に取り組む可能性があるところ。

研究成果の還元

研究成果は、事例集やリーフレット等としてウェブサイトに掲載しており、ダウンロードして活用ができます。また、メールマガジンでの発信や研修事業、研究所セミナーでも普及を図っています。



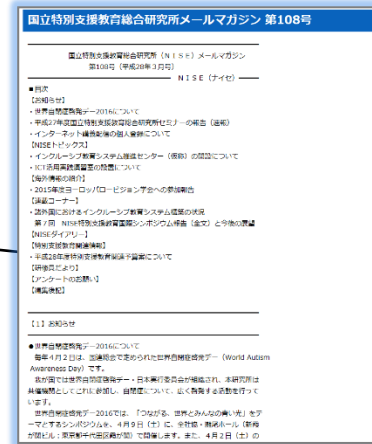
研究成果報告書



事例集



リーフレット



メールマガジン



刊行物(市販)



研修事業(一昨年の様子)



研究所セミナー(一昨年の様子)

研究成果についてはこちらから御覧いただけます
https://www.nise.go.jp/nc/report_material/research_results_publications

障害種別研究班の最近のリーフレット



視覚障害教育



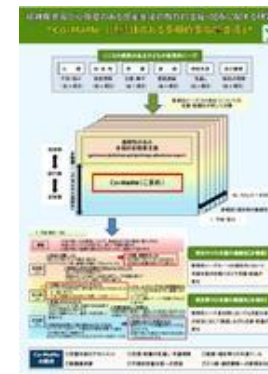
聴覚障害教育



肢体不自由教育



知的障害教育



病弱・身体虚弱教育



自閉症教育



発達障害・情緒障害教育



言語障害教育



重複障害教育



インクルーシブ教育システム



教育課程に関する研究

研究成果についてはこちらから御覧いただけます
https://www.nise.go.jp/nc/report_material/research_results_publications

Ⅱ 研究所の活動

2. 使命・目標を踏まえた研究所の活動

- ① 研究活動
- ② 研修事業
- ③ 情報普及活動



研修事業

(1) 国の政策課題や教育現場のニーズ等に対応できる指導者の専門性の向上

- ・ 各都道府県等における障害種ごとの教育の中核となる教職員を対象とした専門的・技術的な研修及び各都道府県等における指導的立場にある教職員を対象とした特別支援教育政策上や教育現場等の喫緊の課題等に対応した専門的・技術的な研修を実施する。
- ・ 研修目的に留意しつつ、宿泊及びオンラインを適切に組み合わせ、講義のほか、研究所の研究の成果を踏まえた演習・研究協議、フィールドワーク等の形式を多く取り入れるなど工夫し、学術的な理論に裏打ちされた実践的かつ効果的な研修を実施すること。

(2) 各都道府県等が実施する教員の資質向上に関わる支援

- ・ 多様な学びの場に対応した講義配信コンテンツの計画的な整備を図り、インターネットにより学校教育関係者等へ配信すること。
- ・ 特別支援学校教諭免許状取得率向上のために免許法認定通信教育及び免許法認定講習を実施するとともに、大学等が開設する講習への協力、受講者が受講しやすくなる環境・方策及び科目・単位の拡充の可能性について検討すること。
- ・ 大学等と連携して、教員養成段階の学生等を対象とした特別支援教育に関する専門的な講習を実施すること。

指導者の専門性の向上

特別支援教育専門研修(約2ヶ月間) オンラインと宿泊(来所)のベストミックス

- ・視覚障害・聴覚障害・肢体不自由・病弱教育コース
- ・知的障害教育コース
- ・発達障害・情緒障害・言語障害教育コース



指導者研究協議会・セミナー等(1日～2日) オンライン・オンデマンド・来所等の工夫

- ・特別支援教育におけるICT活用に関わる指導者協議会
- ・高等学校における通級による指導に関わる指導者研究協議会
- ・交流及び共同学習推進指導者協議会
- ・発達障害教育実践セミナー
- ・特別支援学校寄宿舎指導実践協議会
- ・難聴児の切れ目ない支援体制構築と更なる支援の推進に向けた地区別研究協議会



資質向上に関わる支援



インターネットによる講義配信

NISE 学びラボ

～ 特別支援教育eラーニング ～

教育委員会・教育センターを対象とした、「NISE学びラボ」を活用した研修企画運営に関わるオンライン相談会を実施します。

12月2日(木) 15時～16時30分
詳細は後日、ご連絡いたします！

令和3年度免許法認定通信教育

後期 視覚障害児の教育課程及び指導法
聴覚障害児の教育課程及び指導法

試験：令和4年2月6日(日)

◆ 令和4年度免許法認定通信教育

視覚障害児の心理、生理及び病理、聴覚障害児の心理、生理及び病理 開設予定



NISEの研修、ぜひ、ご活用ください！

Ⅱ 研究所の活動

2. 使命・目標を踏まえた研究所の活動

- ① 研究活動
- ② 研修事業
- ③ 情報普及活動



情報発信の充実

○ホームページの充実

- ✓トップページにスライダー機能を搭載
- ✓利用者が素早く目的の情報取得できるように、
カテゴリー別にメニューボタンを配置予定
- ✓報告書・資料ページに研究成果等の
更新情報を掲載



○経験の浅い教員向けリーフレットの作成

幼稚園等、小・中学校、高等学校等で特別支援教育の指導の経験のない又は経験年数の少ない教員に対する特別支援教育の理解啓発・普及を目的としたリーフレットを新たに作成し情報発信の充実を図る。

発達障害教育関連情報の充実

発達障害教育推進センターWEBサイトによる情報提供



コンテンツ

発達障害の理解

指導・支援

研修講義動画

発達障害Q & A

当研究所の研究

国の動向や法令

イベント情報

国立障害者リハビリテーションセンターとの連携による情報の拡充

全てのライフステージにおいて切れ目ない支援が行われるよう、ポータルサイトを作成するなど、情報提供の充実を図っていきます。



発達障害ナビポータル (<https://hattatsu.go.jp/>)

発達障害ナビポータルは、文部科学省、国立特別支援教育総合研究所（発達障害教育推進センター）、厚生労働省、国立障害者リハビリテーションセンター（発達障害情報・支援センター）が共同運営するウェブサイトです。令和3年9月30日から公開しています。

当サイトは、平成28年8月施行の改正発達障害者支援法の基本理念と『家庭と教育と福祉の連携「トライアングル」プロジェクト報告～障害のある子と家族をもっと元気に～』（平成30年3月）を受けて作成されました。発達障害のあるご本人やご家族に向けた情報発信を中心に、その方々の暮らしを支える教育、医療、保健、福祉、労働の分野に携わる方々が互いの思いや取組を十分に理解し、これまで以上に連携を強化するための情報も併せて掲載しています。

【問合せ先】 cpedd-hp@nise.go.jp

イベント紹介

※中止又は開催形態が変更となる可能性があります。

研究所公開

日 程 令和3年 秋～冬（予定）
場 所 国立特別支援教育総合研究所
（神奈川県横須賀市）



研究所を身近に感じていただける体験型のイベントです。

国立特別支援教育総合研究所セミナー

日 程 令和4年2月5日（土）
開催方法 オンラインによるライブ配信
オンデマンドによる動画配信
（YouTube等による配信）



研究所の活動や研究成果を報告します。

特別支援教育推進 セミナー

令和3年11月26日（金）	宮崎県：九州ブロック 開催地：宮崎県教育研修センター
令和3年12月21日（火）	山形県：北海道・東北ブロック 開催地：山形県教育センター
令和3年12月27日（月）	広島県：中国ブロック 開催地：広島大学

令和3年度（新規） 特別支援教育推進セミナー

<目的>

地域における特別支援教育の理解啓発を図るため、教育委員会、特別支援教育センター（教育センターに特別支援教育を担当する部署がある場合を含む）（以下、特別支援教育センター等という）、関係団体等及び大学と連携を図りながら、各種セミナーや研修会、支援機器等教材に関する展示会等を戦略的、計画的に実施する。全国を7ブロックに分け、中期計画期間中に**各ブロックの実情に応じた開催**を計画し毎年度3回（中期計画期間中に15回）程度開催する。

<令和3年度にご参加頂けるブロック別開催セミナーの概要>

山形県（北海道・東北ブロック） 令和3年12月21日（火）開催

- ・開催場所：山形県教育センター/オンライン
- ・内容：発達障害に関する講義、実践報告など

広島大学（中国ブロック） 令和3年12月27日（月）開催

- ・開催場所：広島大学/オンライン
- ・内容：当事者の方からの講演、通級指導の実践報告など

宮崎県（九州ブロック） 令和3年11月26日（金）開催

- ・開催場所：宮崎県教育研修センター/オンライン
- ・内容：特別支援教育におけるICT活用に関する講演など

令和3年度 国立特別支援教育総合研究所セミナー

ご案内（一次案内）

日時 令和4年2月5日（土）
オンライン・オンデマンド開催



特総研モニュメント「子どもとともに」

参加申込は、令和3年12月初旬頃から受付を予定しております。
Zoomウェビナーについて事前登録が必要です。
詳細は二次案内の際にお知らせします

参加費	無料
募集定員	1,000名

◇ 主な内容（予定）

辻村賞受賞式及び記念講演
文部科学省行政説明
基調講演
シンポジウム
研究テーマ別分科会
研究活動等のオンデマンド配信

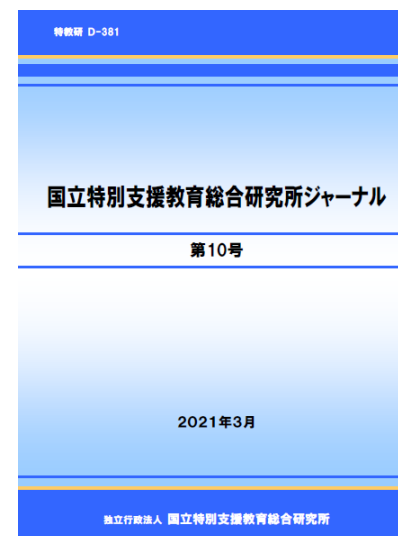
* 詳細な日程や接続の方法等は随時ホームページでお知らせします。

諸外国の最新情報の収集と発信

- ・ 海外のインクルーシブ教育システムに関する情報を収集し、研究所セミナー、ジャーナル等で広く発信しています。
- ・ 海外の研究機関等との交流、研究職員の海外派遣、海外の教育行政担当者や学校教員等の視察・研修の受け入れ等を通じて国際交流を推進しています。

○国立特別支援教育総合研究所ジャーナルでの発信

収集した海外の情報を、特総研ジャーナルより情報発信。「各国におけるインクルーシブ教育システムの動向」を紹介しています(ウェブサイトから御覧いただけます。)



ジャーナル第10号
(令和3年3月発行)

○海外の研究機関との研究交流の推進

【 研究交流協定締結機関 】

韓国国立特殊教育院(平成7年11月締結,令和元年7月再締結)

ケルン大学人間科学部(平成10年11月締結)

フランス国立特別支援教育高等研究所(平成27年3月締結)

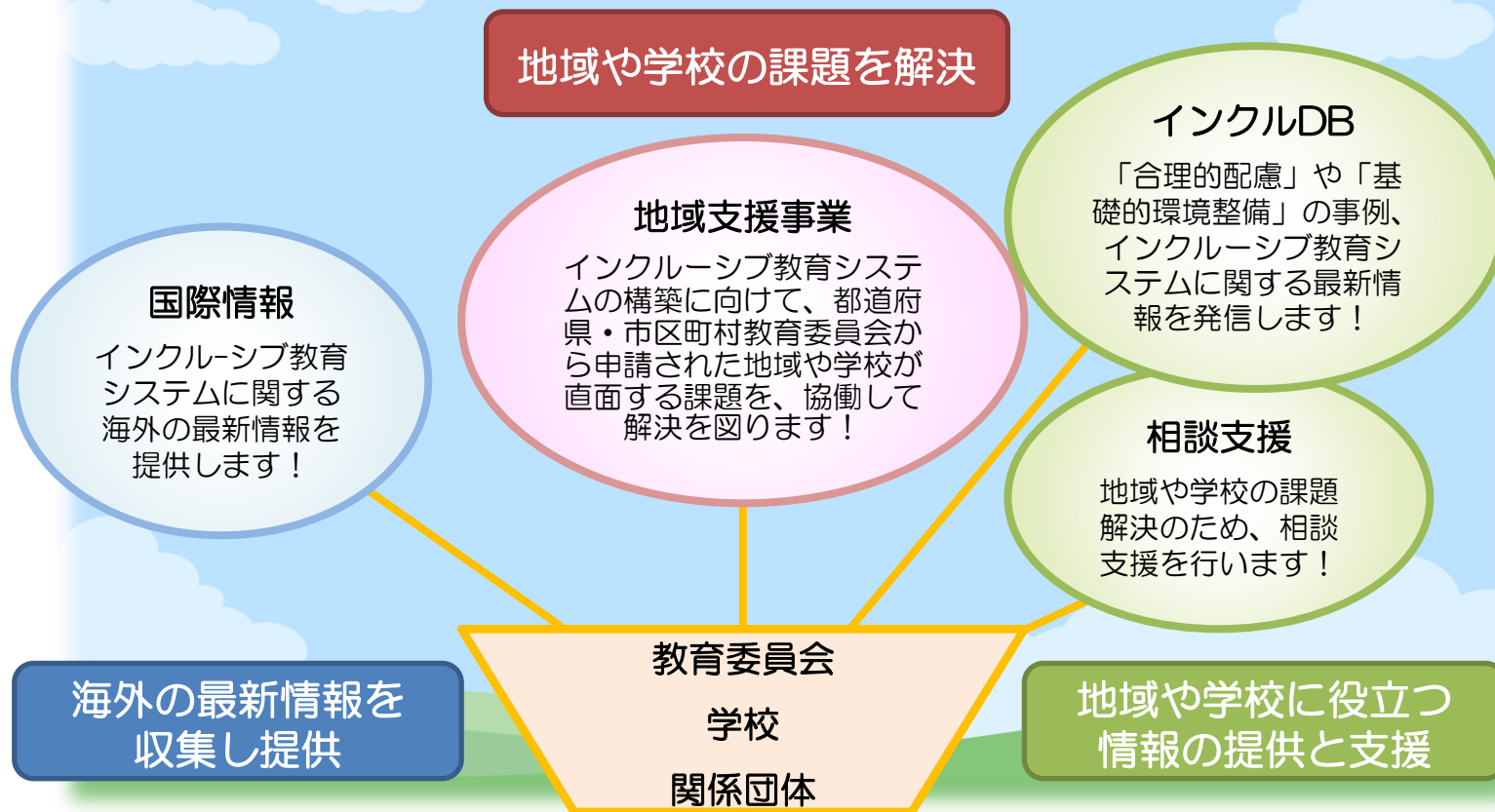
○韓国国立特殊教育院との交流

両機関の情報共有と交流を深めるため、特別支援教育協議会(仮称)の開催等を実施。

インクルーシブ教育システム構築への寄与

～「インクルーシブ教育システム推進センター」の設置（平成28年4月）～

インクルーシブ教育システムの構築を一層推進するため、**地域や学校の取組を強力にバックアップ**していきます。



インクルーシブ教育システム推進センターの詳細は、こちらのウェブサイトからご覧いただけます。

https://www.nise.go.jp/nc/about_nise/inclusive_center

教育委員会と研究所が連携して 地域のインクルーシブ教育システム構築を推進する事業です

- 研究所との連携により、インクルーシブ教育システム構築に関する課題解決に向けた取組を推進します
- これまでの「地域実践研究」の研究成果を活用できます
- 他の参加地域と情報交換することができます
- 事業の成果を、研究所と協働して地域に普及することができます



令和4年度、このような事業に取り組みませんか

- 専門性のある指導体制の確保
「教育委員会主催の研修」 「切れ目ない支援体制づくり」
- 交流及び共同学習の推進
- インクルーシブ教育システムに関連した理解啓発
「校内研修プログラム作成」 「障害理解授業」 「地域に向けた理解促進」

現在、令和4年度の募集を行っています

- 令和3年12月10日（金）申請締切（都道府県・指定都市教育委員会に発
出済）

令和3年度参加自治体（13市町）

- ・札幌市（北海道）
- ・芽室町（北海道）
- ・釜石市（岩手県）
- ・鹿沼市（栃木県）
- ・相模原市（神奈川県）
- ・横須賀市（神奈川県）
- ・葉山町（神奈川県）
- ・須坂市（長野県）
- ・袋井市（静岡県）
- ・田原市（愛知県）
- ・箕面市（大阪府）
- ・神戸市（兵庫県）
- ・筑前町（福岡県）



所外から
アドバイザー
2名依頼

令和3年度の実施計画

- ・4月1日 事業開始 ～ 3月31日 事業終了
- ・4月23日 事業説明会（リモート）
- ・8月26日 推進プログラム（リモート）
- ・3月18日 事業報告会（リモート）
（随時） 各自治体での報告会等



インクルーシブ教育システム構築支援データベース(インクルDB)

インクルDB(インクルーシブ教育システム構築支援データベース)は、子どもの実態から、どのような基礎的環境整備や合理的配慮が有効かについて、参考となる事例を紹介しています。また、研修会での事例検討にも活用できます。インクルDBは、各学校の先生方だけでなく、保護者の方をはじめ、広く一般の方にもご利用いただくことができます。

平成30年9月下旬より、実践事例の取組を分かりやすくまとめた概要版(実践事例データベースⅡ)、令和2年3月からインクルDBを活用した研修例、交流及び共同学習の事例及びや関連情報を掲載しています。

令和3年10月18日現在 事例掲載数：575件

Aさんは字を書くのが苦手で困っているみたい。なんとかしてあげたいわ。



①

そうだ！このあいだの研修会で「インクルDB」のお話があったわ。早速調べてみよう。



②

字を書くことに関するたくさんの事例があるわ。なるほど、こんな合理的配慮もあるのね。



③

保護者の方と支援の内容や方法について合意形成します



④

Aさんは、字が書きやすくなったみたい。よかったわ。



⑤

合理的配慮や基礎的環境整備に関する情報をダウンロードできます。

インクルDBウェブサイト<http://inclusive.nise.go.jp/> または

インクルDB  で検索！

「インクルDB」説明動画を配信中

YouTubeの NISEChannel で、ご覧いただけます

<https://www.youtube.com/user/NISEchannel>

インクルDBの紹介と その活用方法

インクルーシブ教育システム推進センター

インクルDB



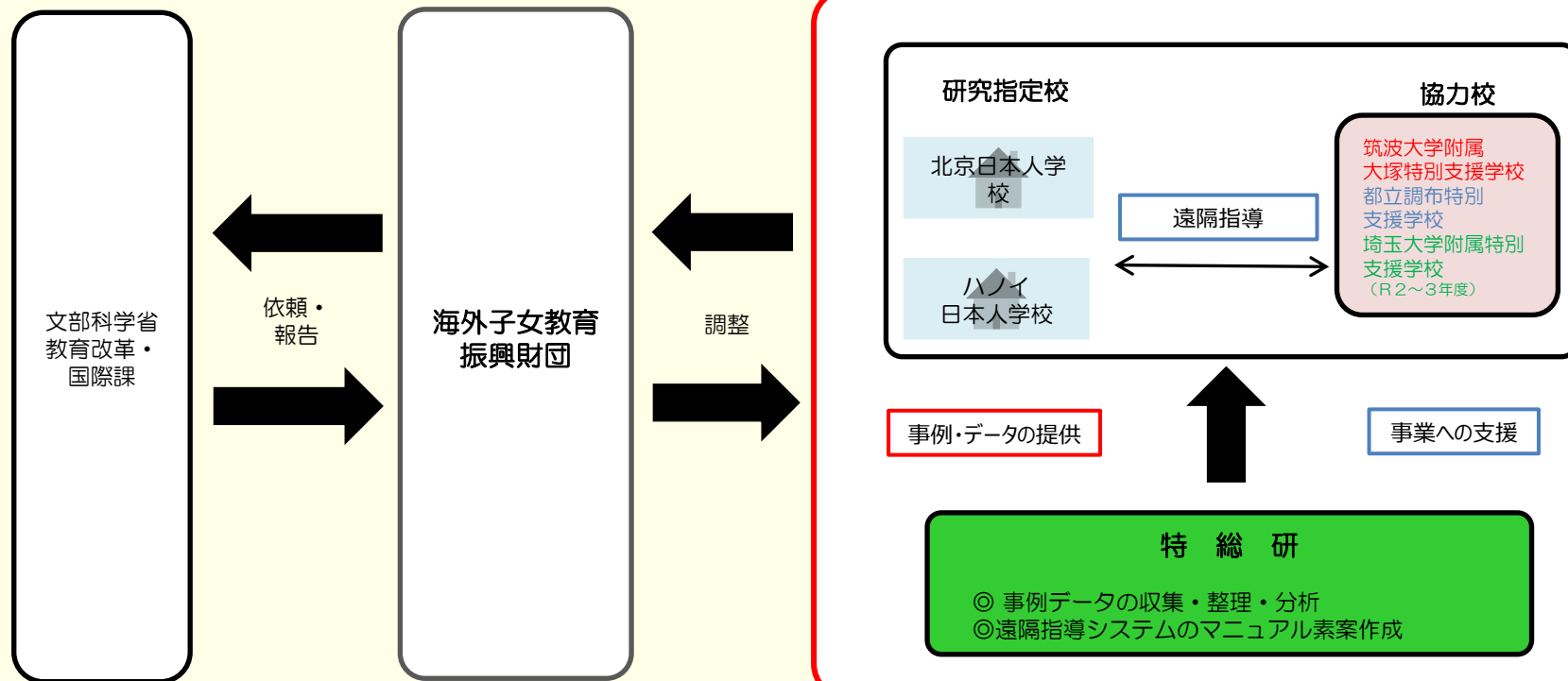
皆さん、こんにちは。インクルーシブ教育システム構築支援データベース、インクルDBの活用方法について紹介します。検索サイトで、インクルDBと検索するとすぐに出てきますので、早速検索してみてください。



日本人学校への相談支援

- ・日本人学校に対して、特別支援教育に関する情報提供を定期的を実施。
- ・日本人学校を通じた相談支援。

文部科学省と連携し、日本人学校への遠隔指導に関する取組



事業報告会

「日本人学校における特別支援教育に関する 遠隔指導の実施に向けた実践的研究」 (AG5事業報告会)

1. 日時： 令和3年11月13日（土）
日本時間 午後1時～午後3時
2. 会場： 「Zoom 会議システム会場」
申込： <https://www.ag-5.jp/report/theme8/study/detail/148>
3. 主な内容：
 - (1) 事業概要説明
 - (2) 研究提携校（日本人学校および特別支援学校）
による特別支援コンサルテーション報告
 - (3) 参加者による情報交換会（質疑応答）

AG5(エージーファイブ)とは、公益財団法人海外子女教育振興財団が文部科学省より受託した「在外教育施設の高度グローバル人材育成拠点事業」の名称です。国立特別支援教育総合研究所は、文部科学省と連携し、日本人学校への遠隔指導に関する取組に参画しました。

メールマガジン、LINEのご案内

メールマガジン

毎月ご案内。

【 主な内容 】

- ・ NISEからのお知らせ
- ・ NISEに関するトピックス記事
- ・ 研究成果、海外情報の紹介
- ・ 特別支援教育関連情報
- ・ NISEダイアリー（理事長によるコラム）



下記のURLやQRコードより登録が可能です。
https://nc.nise.go.jp/about_nise/mail_mag

LINE

毎月2～3回ご案内。

【 主な内容 】

- ・ NISEからのお知らせ
- ・ HP未掲載のプチ情報



お知らせ

国立特別支援教育総合研究所に
関する情報は、

<https://www.nise.go.jp/nc/> にアクセス

または、

nise



で検索！

